

令和4年度
(令和3年度実績)

富山県の後期高齢者医療

令和5年1月

富山県後期高齢者医療広域連合

目次

1	広域連合の概要.....	1
	(1) 富山県後期高齢者医療広域連合の概要.....	2
	(2) 財政状況.....	7
2	被保険者の状況.....	9
	(1) 被保険者数の推移.....	10
	(2) 年齢階層別被保険者数.....	11
	(3) 所得区分別被保険者数及び構成割合.....	11
	(4) 市町村別被保険者数.....	12
3	保険料の状況.....	14
	(1) 保険料率.....	15
	(2) 保険料の賦課収納.....	15
	(3) 保険料の軽減.....	16
	(4) 保険料の減免.....	16
	(5) 短期被保険者証の発行状況.....	17
	(6) 収納率向上に向けた取り組み.....	17
4	医療費・保険給付費の状況.....	18
	(1) 医療費の概要.....	19
	(2) 一人当たり医療費.....	20
	(3) 医療費の種類別推移.....	21
	(4) 療養費.....	23
	(5) 葬祭費.....	24
	(6) 疾病別医療費の概要.....	24
5	保健事業の状況.....	28
	(1) 健康診査事業.....	29
	(2) 歯科健診.....	30
	(3) 人間ドック助成事業.....	31
	(4) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業.....	31
	(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業.....	32
	(6) 循環器疾患（高血圧）重症化予防事業.....	32
	(7) フレイル対策モデル事業.....	33
	(8) ポリファーマシー対策事業.....	33
	(9) 保険者インセンティブの推進.....	34
6	医療費適正化事業の状況.....	35
	(1) 医療費通知（医療費のお知らせ）の送付.....	36
	(2) ジェネリック医薬品の利用促進.....	36
	(3) 重複・頻回受診者訪問指導事業.....	36

1 広域連合の概要

1 広域連合の概要

(1) 富山県後期高齢者医療広域連合の概要

広域連合設立の根拠

高齢者の医療の確保に関する法律第 48 条

市町村は、後期高齢者医療の事務を処理するため、都道府県の区域ごとに当該区域内のすべての市町村が加入する広域連合を設けるものとする。

広域連合設立の経緯

平成 18 年 6 月 21 日に「健康保険法等の一部を改正する法律」が公布され、平成 20 年度から、これまでの老人保健制度に代わり、原則として 75 歳以上の方を対象とする新たな高齢者医療制度が創設されることになりました。

この制度の運営主体として、都道府県単位で全市町村が加入する特別地方公共団体である「広域連合」が平成 18 年度中に設置されることも同法で定められました。

本県では、富山県市長会及び富山県町村会が中心となって、全市町村の首長が委員となる広域連合設立準備委員会を平成 18 年 9 月 1 日に立ち上げ、委員会や全市町村の所管課長による幹事会の場で様々な検討を行ってまいりました。

そして、平成 18 年 12 月 22 日までに、県下全市町村の議会において広域連合設置議案が可決され、平成 18 年 12 月 27 日に全市町村長の連名で富山県知事に対し、設置許可申請を行いました。

平成 19 年 1 月 10 日に許可書の交付を受け、同日に「富山県後期高齢者医療広域連合」が発足し、平成 20 年 4 月 1 日から後期高齢者医療制度が開始されました。

概 要

項 目	内 容	
設立	平成 19 年 1 月 10 日	平成 18 年 12 月 27 日：設立許可申請書を知事に提出 平成 19 年 1 月 10 日：設立許可
構成市町村	富山県内全市町村	県内の全ての市町村（15 市町村）
事務所	富山県富山市婦中町速星 754 富山市婦中行政サービスセンター 5 階	
処理事務	後期高齢者医療制度の保険者業務 （被保険者の資格管理、医療給付、保険料の賦課及び徴収、保健事業等）	
執行機関	連合長 1 人 副連合長 1 人	○連合長 角田 悠紀（高岡市長） ○副連合長 笹原 靖直（朝日町長）
議員定数	定 数 24 人 〔関係市町村長、副市町村長〕 又は議会の議員により組織	○議長 桜井 森夫（小矢部市長） ○副議長 柝山 数男（富山市議会議員）
事務局職員	派遣職員 18 人 （会計年度任用職員 4 人）	○総務課、事業課 （10 市から 13 人、4 町から 4 人、1 村から 1 人）
経費支弁	市町村の負担金 ○共通経費（均等割 10%、高齢者人口割 45%、人口割 45%） ○医療給付に要する経費（高齢者医療確保法第 98 条） ○保険料その他の納付金等（高齢者医療確保法第 105 条）	

令和 4 年 10 月 1 日現在

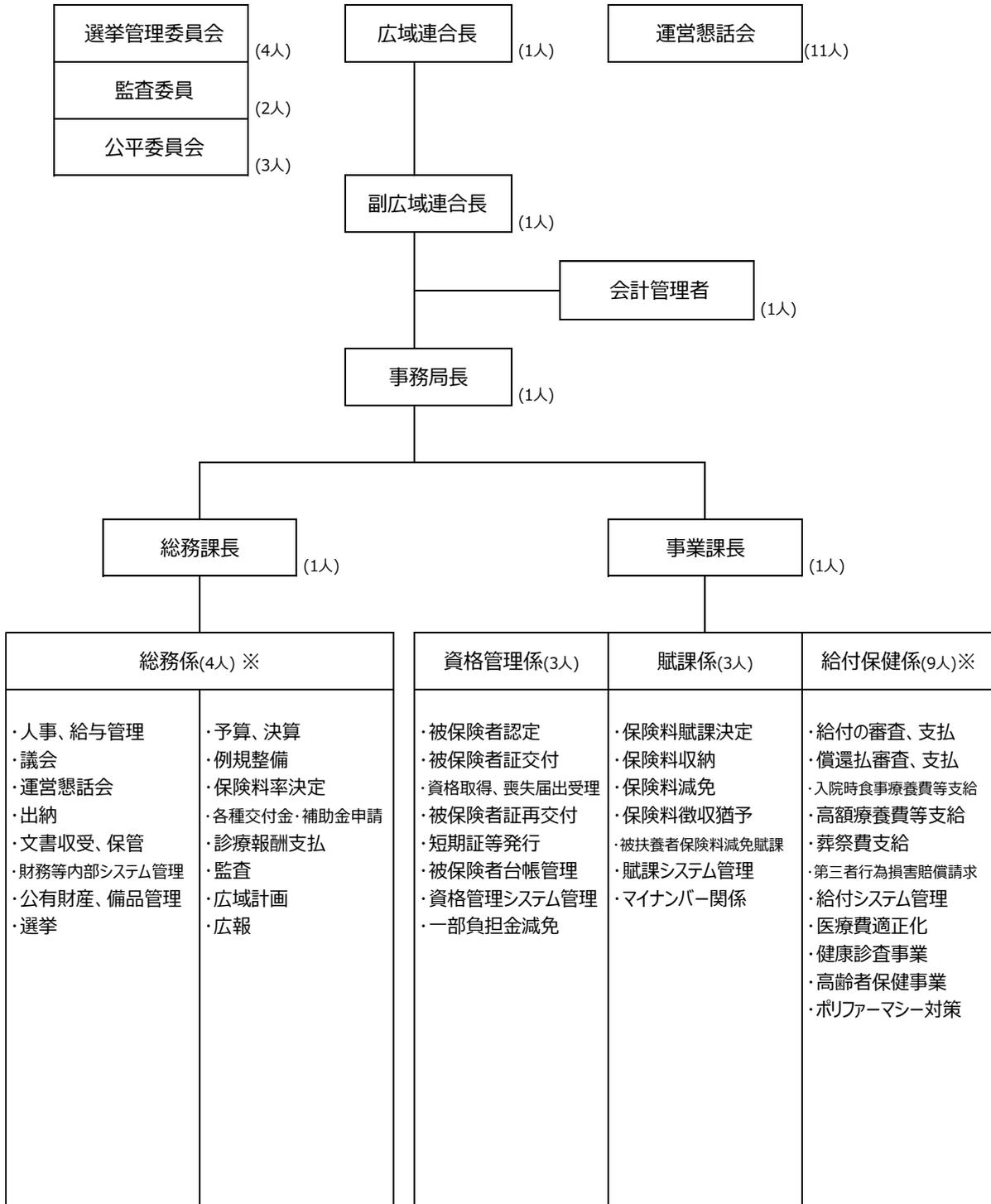
広域連合と市町村の役割分担

	広域連合が行う事務	市町村が行う事務
被保険者の資格管理に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> ① 被保険者の資格管理 ② 65歳～74歳の者の資格認定 ③ 被保険者証の交付・回収 ④ 一部負担金割合の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ① 申請及び届出の受付 <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者証の交付申請 ・障害認定申請等 ・生活保護認定等に係る資格取得・喪失の届出 ② 被保険者証等の再発行 ③ 被保険者証等の返還の受付 ④ 短期証等の発行
医療給付に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> ① 医療給付費の審査、支払 ② 葬祭費等の支給 ③ レセプト点検の実施、医療費通知・後発医薬品差額通知の送付 	<ul style="list-style-type: none"> ① 医療給付、葬祭費等の支給申請の受付 ② 特定疾病の認定に係る証明書の引渡し
保険料の賦課及び徴収に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> ① 保険料率の決定 ② 保険料の賦課決定 ③ 保険料軽減措置判定 ④ 減免・徴収猶予の決定 ⑤ 簡易申告書及び所得照会書の送付 	<ul style="list-style-type: none"> ① 保険料の徴収(納入通知書の送付を含む。) ② 保険料等の納入 ③ 保険料の減免・徴収猶予に係る申請の受付 ④ 簡易申告書及び所得照会書の受付
保健事業に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> ① データヘルス計画の推進 ② 高齢者保健事業の実施 (健康診査、歯科健診、重症化予防事業) ③ 高齢者保健事業と介護予防の一体的実施の推進 <ul style="list-style-type: none"> ア 高齢者保健事業の企画調整 イ 域内全体の健康課題の把握・分析 ウ 市町村への情報提供及び各過程における支援 エ 事業実施内容の取りまとめ及び事業評価 オ 関係団体等との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ① 広域連合と連携した保健事業の実施 ② 高齢者保健事業と介護予防の一体的実施の実施 <ul style="list-style-type: none"> ア 事業内容の企画・調整 イ 基本的な方針の策定 ウ KDBシステム等を活用した地域の健康課題の分析・把握 エ 低栄養防止・重症化予防個別的支援(ハイリスクアプローチ) オ 通いの場等への積極的関与(ポピュレーションアプローチ) カ 実績報告関係書類の作成 キ 関係団体等との調整
その他後期高齢者医療制度の施行に関する事務	<ul style="list-style-type: none"> ① 後期高齢者医療制度に関する広報活動の実施 ② 住民からの相談、問い合わせ等の対応 ③ 個人情報情報の適正管理 	<p>(広域連合・市町村が連携)</p>

令和4年10月1日現在

組織及び事務分担

執行機関



令和4年10月1日現在

※会計年度任用職員含む

各課の職員構成

課係等名		職名	人数	派遣元
事務局長	—	事務局長	1名	高岡市
総務課	—	課長	1名	富山市
	総務係	係長	1名	砺波市
		主任	2名	舟橋村、黒部市
		会計年度任用職員 (事務員)	1名	—
事業課	—	課長	1名	射水市
	資格管理係	主幹	1名	小矢部市
		主任	2名	入善町、魚津市
	賦課係	係長	1名	富山市
		主任	1名	上市町
		主事	1名	滑川市
	給付保健係	課長補佐	1名	立山町
		主査	1名	朝日町
		主任	2名	高岡市、氷見市
		主事	2名	富山市、南砺市
			会計年度任用職員 (保健師・事務員)	3名

令和4年10月1日現在

(2) 財政状況

一般会計決算の状況

【令和3年度 一般会計決算】

歳 入				歳 出			
科 目 (款)	決算額 (円)	構成比	前年度比	科 目 (款)	決算額 (円)	構成比	前年度比
1 分担金及び負担金	146,257,000	94.0%	▲1.2%	1 議会費	570,612	0.4%	▲0.1%
2 諸収入	4,911	0.0%	▲77.2%	2 総務費	148,515,950	99.6%	2.1%
3 繰越金	9,351,290	6.0%	27.0%	3 公債費	0	0.0%	—
				4 予備費	0	0.0%	—
合 計	155,613,201	100.0%	0.2%	合 計	149,086,562	100.0%	2.1%

収支差引額 6,526,639円

【一般会計 決算額の推移】

年度	歳 入		歳 出		収支差引額 (円)
	決算額 (円)	前年度比	決算額 (円)	前年度比	
平成29年度	143,455,988	1.7%	140,295,422	1.6%	3,160,566
平成30年度	145,162,169	1.2%	140,833,089	0.4%	4,329,080
令和元年度	150,814,576	3.9%	143,448,505	1.9%	7,366,071
令和2年度	155,360,592	3.0%	146,009,302	1.8%	9,351,290
令和3年度	155,613,201	0.2%	149,086,562	2.1%	6,526,639

特別会計決算の状況

【令和3年度 特別会計決算】

歳 入				歳 出			
科 目 (款)	決算額 (円)	構成比	前年度比	科 目 (款)	決算額 (円)	構成比	前年度比
1 市町村支出金	28,936,272,910	17.3%	1.6%	1 総務費	559,995,924	0.3%	▲1.5%
2 国庫支出金	54,959,879,870	32.8%	▲1.3%	2 保険給付費	155,773,779,166	93.1%	3.0%
3 県支出金	13,677,151,664	8.2%	3.6%	3 特別高額医療費 共同事業拠出金	41,497,090	0.0%	37.7%
4 支払基金交付金	63,751,741,000	38.1%	2.9%	4 保健事業費	734,232,252	0.5%	17.5%
5 特別高額医療費 共同事業交付金	51,194,573	0.0%	▲31.9%	5 基金積立金	3,369,623,355	2.0%	1,316,226.0%
6 財産収入	96,355	0.0%	▲52.2%	6 公債費	0	0.0%	—
7 繰入金	180,739,386	0.1%	皆増	7 諸支出金	6,905,482,922	4.1%	165.7%
8 県財政安定化基金 借入金	0	0.0%	—	8 予備費	0	0.0%	—
9 諸収入	1,286,498,152	0.8%	587.2%				
10 繰越金	4,541,036,799	2.7%	皆増				
合 計	167,384,610,709	100.0%	4.9%	合 計	167,384,610,709	100.0%	7.9%

収支差引額 0円

【財政調整基金】 11,225,476,681円 (令和3年度末残高)

【特別会計 決算額の推移】

年度	歳 入		歳 出		収支差引額 (円)
	決算額 (円)	前年度比	決算額 (円)	前年度比	
平成29年度	152,242,803,665	4.2%	151,202,351,568	4.8%	1,040,452,097
平成30年度	154,880,392,277	1.7%	154,880,392,277	2.4%	0
令和元年度	159,097,718,342	2.7%	159,097,718,342	2.7%	0
令和2年度	159,615,824,804	0.3%	155,074,788,005	▲2.5%	4,541,036,799
令和3年度	167,384,610,709	4.9%	167,384,610,709	7.9%	0

2 被保険者の状況

2 被保険者の状況

(1) 被保険者数の推移

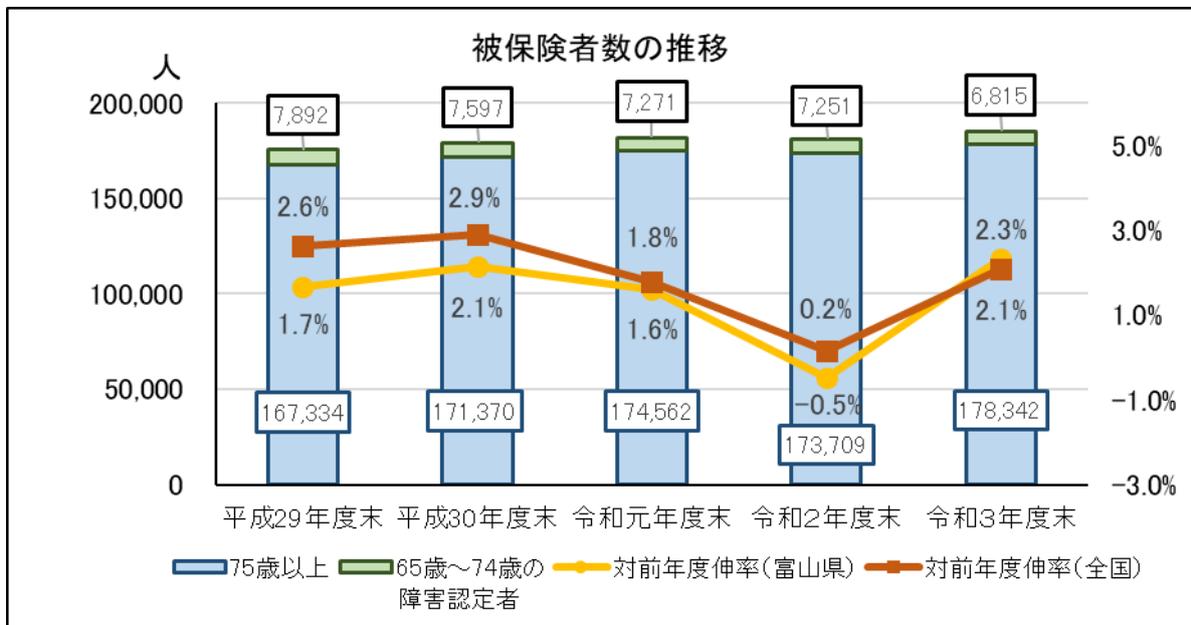
本県の被保険者数は、令和3年度末時点で18万5,157人であり、令和2年度末では対前年数から減となっていたが、再び増加に転じた。制度が創設された平成20年度末時点の14万8,766人から比べると24.5パーセント増加している。また、県人口に占める被保険者数の割合も増加を続けており、高齢化の進展がうかがえる。

【被保険者数の推移】

年度	被保険者数 A (人)	対前年 増加数 (人)	対前年 伸率 (%)	再掲				富山県 人口※ D (人)	富山県 人口比 A/D (%)
				75歳以上		65歳～74歳の 障害認定者			
				B (人)	B/A (%)	C (人)	C/A (%)		
平成29年度末	175,226	2,874	1.7%	167,334	95.5%	7,892	4.5%	1,055,893	16.6%
平成30年度末	178,967	3,741	2.1%	171,370	95.8%	7,597	4.2%	1,050,246	17.0%
令和元年度末	181,833	2,866	1.6%	174,562	96.0%	7,271	4.0%	1,042,998	17.4%
令和2年度末	180,960	-873	-0.5%	173,709	96.0%	7,251	4.0%	1,034,814	17.5%
令和3年度末	185,157	4,197	2.3%	178,342	96.3%	6,815	3.7%	1,025,409	18.1%

【出典】◆富山県人口：「富山県人口移動調査」 ◆被保険者数：「事業年報」

※富山県人口は各年度の10月1日現在



※全国の伸率は厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」を基に算出。

(2) 年齢階層別被保険者数

75歳未満では、65歳から69歳の被保険者数は減少傾向にある。75歳以上では、80歳以上の階層で増加傾向にあるが、特に90歳以上の被保険者数が増加している。

【年齢階層別被保険者数】

単位：人

	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳～	計
平成29年度末	3,573	4,319	60,611	49,144	34,969	16,956	4,875	779	175,226
平成30年度末	3,209	4,388	64,445	47,596	35,489	17,842	5,210	788	178,967
令和元年度末	2,770	4,501	66,426	47,667	35,563	18,391	5,661	854	181,833
令和2年度末	2,533	4,718	63,073	47,781	36,826	19,064	6,058	907	180,960
令和3年度末	2,350	4,465	63,512	50,752	37,318	19,448	6,338	974	185,157

【平成29年度末から令和3年度末の増減率】

65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳～	計
▲34.2%	3.4%	4.8%	3.3%	6.7%	14.7%	30.0%	25.0%	5.7%

(3) 所得区分別被保険者数及び構成割合

被保険者数に占める「現役並み所得者」、「現役並み所得者以外」の比率は、近年、大きな変化は見られない。内訳では、「現役並み所得者以外」において、低所得者Ⅰ、一般所得者の比率が減少する半面、低所得者Ⅱの比率が増加する傾向にある。

【所得区分別被保険者数及び構成割合】

単位：人

年度	被保険者数									
		現役並み所得者					現役並み所得者以外			
		再掲（所得区分）	再掲（所得区分）			再掲（所得区分）	再掲（所得区分）			
			現役並みⅢ	現役並みⅡ	現役並みⅠ		一般所得者	低所得者Ⅱ	低所得者Ⅰ	
平成29年度末	175,226	8,282	—	—	—	166,944	112,154	34,887	19,903	
割合	100.00%	4.73%	—	—	—	95.27%	64.01%	19.91%	11.36%	
平成30年度末	178,967	8,707	1,412	1,354	5,941	170,260	113,586	36,919	19,755	
割合	100.00%	4.87%	0.79%	0.76%	3.32%	95.13%	63.47%	20.63%	11.04%	
令和元年度末	181,833	9,001	1,430	1,399	6,172	172,832	114,716	38,688	19,428	
割合	100.00%	4.95%	0.79%	0.77%	3.39%	95.05%	63.09%	21.28%	10.68%	
令和2年度末	180,960	8,753	1,359	1,369	6,025	172,207	113,344	39,862	19,001	
割合	100.00%	4.84%	0.75%	0.76%	3.33%	95.16%	62.63%	22.03%	10.50%	
令和3年度末	185,157	9,200	1,403	1,452	6,345	175,957	115,105	42,348	18,504	
割合	100.00%	4.97%	0.76%	0.78%	3.43%	95.03%	62.17%	22.87%	9.99%	

※平成30年8月より現役並み所得者の区分が細分化され、所得が高い順に「現役並みⅢ」、「現役並みⅡ」、「現役並みⅠ」となった。

※端数処理を四捨五入により行っていることから、構成割合の総数と内訳の計が一致しない場合がある。

富山県の後期高齢者医療

(4) 市町村別被保険者数

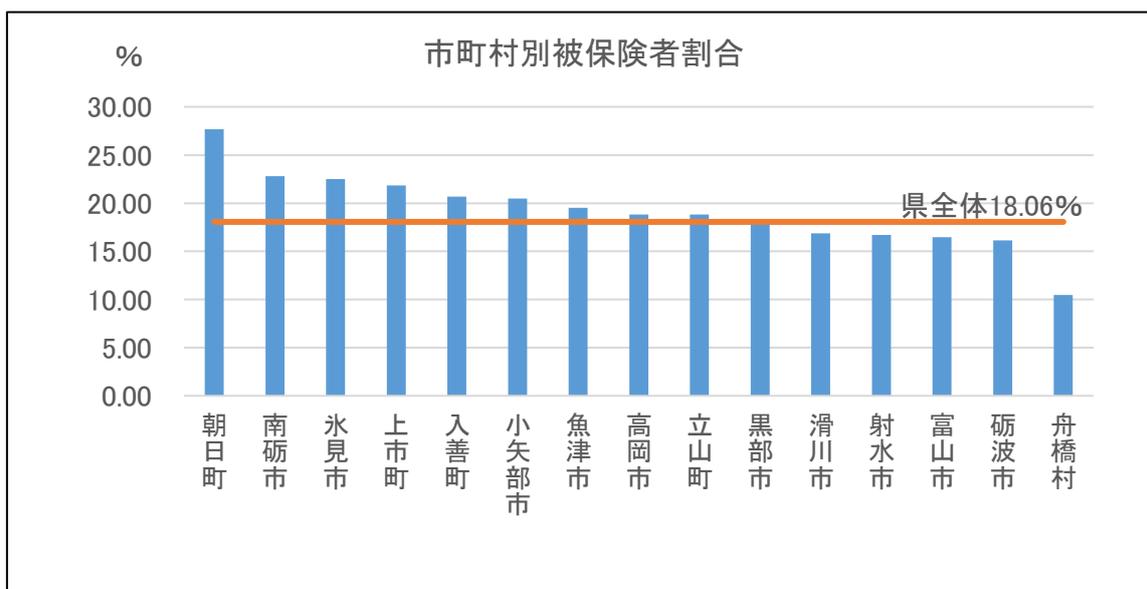
各市町村の人口に占める被保険者数の割合は、朝日町(27.68%)が最も高く、舟橋村(10.47%)が最も低くなっている。県全体での割合は18.06%で前年の17.49%から増となっており、人口5.5人に1人が後期高齢者医療被保険者となっている。

【市町村別被保険者数】

	人口 (人)	年齢層別被保険者内訳(人)								被保険者数 (人)	被保険者割合 (%)
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳以上		
富山市	411,487	988	1,792	23,629	18,900	13,361	6,655	2,141	332	67,798	16.48
高岡市	164,903	329	670	10,921	8,582	6,139	3,161	1,085	163	31,050	18.83
魚津市	39,896	84	164	2,652	2,214	1,578	788	269	42	7,791	19.53
氷見市	43,035	101	218	3,192	2,544	2,101	1,130	346	53	9,685	22.50
滑川市	32,211	61	147	1,862	1,506	1,094	573	178	15	5,436	16.88
黒部市	39,425	77	149	2,385	2,006	1,439	768	277	43	7,144	18.12
砺波市	47,729	111	187	2,568	1,992	1,594	927	274	42	7,695	16.12
小矢部市	28,532	73	116	1,872	1,553	1,224	723	233	52	5,846	20.49
南砺市	47,104	121	255	3,186	2,811	2,353	1,422	524	67	10,739	22.80
射水市	90,206	194	381	5,526	4,132	2,900	1,416	439	67	15,055	16.69
舟橋村	3,179	3	6	97	121	65	32	9	0	333	10.47
上市町	19,022	60	109	1,468	1,120	834	420	127	15	4,153	21.83
立山町	24,489	60	100	1,590	1,240	985	468	131	32	4,606	18.81
入善町	23,341	66	112	1,579	1,254	990	597	198	27	4,823	20.66
朝日町	10,850	22	59	985	777	661	368	107	24	3,003	27.68
合計	1,025,409	2,350	4,465	63,512	50,752	37,318	19,448	6,338	974	185,157	18.06

※人口：令和3年10月1日現在 被保険者数：令和4年3月31日現在

【出典】人口：「富山県人口移動調査」 被保険者数：富山県後期高齢者医療広域連合集計



参考：市町村別高齢化率

令和3年10月1日現在

	人口 (人)	65歳以上人口 (人)	高齢化率 (%)
富山市	411,487	122,882	29.86
高岡市	164,903	54,815	33.24
魚津市	39,896	13,789	34.56
氷見市	43,035	17,265	40.12
滑川市	32,211	9,749	30.27
黒部市	39,425	12,508	31.73
砺波市	47,729	14,653	30.70
小矢部市	28,532	10,848	38.02
南砺市	47,104	18,705	39.71
射水市	90,206	27,759	30.77
舟橋村	3,179	621	19.53
上市町	19,022	7,226	37.99
立山町	24,489	8,266	33.75
入善町	23,341	8,784	37.63
朝日町	10,850	4,923	45.37
合計	1,025,409	332,793	32.45

【出典】人口：「富山県人口移動調査」

3 保険料の状況

3 保険料の状況

(1) 保険料率

保険料には、被保険者全員が一律に負担する「均等割額」と前年の所得に応じて負担する「所得割額」があり、その合計の上限額（賦課限度額）は令和3年度は64万円であった。

【保険料率及び賦課限度額の推移】

	平成28・29年度	平成30・令和元年度	令和2・3年度
均等割額	43,800円	43,800円	46,800円
所得割率	8.60%	8.60%	8.82%
賦課限度額 (年間保険料額の限度額)	57万円	62万円	64万円

(2) 保険料の賦課収納

保険料の納付方法は、年金から天引きされる「特別徴収」と納付書や口座引落で納める「普通徴収」がある。本県の収納率は過去5年間向上し続けている。

【保険料の徴収方法ごとの納付額・収納率】

年度	徴収区分	調定額A	収納額B	収納率B/A(%)
平成29年度	特別徴収	7,127,455,400	7,127,455,400	100.00
	普通徴収	3,462,430,000	3,414,147,100	98.60
	合計	10,589,885,400	10,541,602,500	99.54
平成30年度	特別徴収	7,486,363,900	7,486,363,900	100.00
	普通徴収	3,576,466,100	3,527,581,546	98.63
	合計	11,062,830,000	11,013,945,446	99.55
令和元年度	特別徴収	7,933,189,300	7,933,189,300	100.00
	普通徴収	3,713,408,300	3,662,873,283	98.63
	合計	11,646,597,600	11,596,062,583	99.56
令和2年度	特別徴収	8,569,559,100	8,569,559,100	100.00
	普通徴収	3,831,239,000	3,786,250,983	98.82
	合計	12,400,798,100	12,355,810,083	99.63
令和3年度	特別徴収	8,615,529,200	8,615,529,200	100.00
	普通徴収	3,860,954,100	3,818,815,750	98.90
	合計	12,476,483,300	12,434,344,950	99.66

(3) 保険料の軽減

所得が一定以下の被保険者等に対して保険料の均等割が減額される軽減措置がある。

【軽減対象者の内訳】

軽減割合		対象者	割合
均等割	7割軽減	65,408人	35.87%
	5割軽減	26,147人	14.34%
	2割軽減	22,369人	12.27%
	軽減合計	113,924人	62.48%
被保険者数		182,343人	

(令和3年8月1日現在)

(4) 保険料の減免

災害や失業などによる所得の大幅な減少など特別な事由により保険料の納付が困難な場合、申請により保険料の減額または免除が受けられる。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少等を事由とした減免が急増した。

【保険料減免実績】

年度	災害等		減収等		その他		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
平成29年度	3	282,000	2	24,000	2	4,500	7	310,500
平成30年度	5	373,000	0	0	2	6,500	7	379,500
令和元年度	5	342,000	0	0	4	19,300	9	361,300
令和2年度	8	505,900	0	0	289	13,120,500	297	13,626,400
令和3年度	5	481,400	0	0	45	3,258,000	50	3,739,400

※申請受付年度ごと

(5) 短期被保険者証の発行状況

保険料滞納者との交渉機会を確保することを目的として有効期限が3か月又は6か月の短期被保険者証を発行することがある。

【短期被保険者証の発行状況】

年度	①発行者数(人) (8月1日現在)	②被保険者数(人) (7月末現在)	割合(%) (①/②)	全国発行割合(%) (9月末現在)
平成29年度	40	173,227	0.02	0.21
平成30年度	43	176,253	0.02	0.21
令和元年度	67	180,146	0.04	0.19
令和2年度	54	181,683	0.03	0.18
令和3年度	52	180,706	0.03	0.16

【出典】◆全国発行割合：厚生労働省保険局「後期高齢者医療制度被保険者実態調査報告」

(6) 収納率向上に向けた取り組み

富山県後期高齢者医療広域連合では、保険料収納対策実施計画を策定し、保険料を確実に収納するために市町村及び広域連合が行う基本的な取り組みを明確にし、収納対策に取り組んでいる。

また、市町村の保険料収納対策の実態について調査し、調査結果を情報共有することにより、更なる収納率向上に努めている。

【滞納者数の推移】

年度	①滞納者数(人) (翌6月1日現在)	②被保険者数(人) (3月末現在)	割合(%) (①/②)
平成29年度	1,379	175,226	0.79
平成30年度	1,349	178,967	0.75
令和元年度	1,582	181,833	0.87
令和2年度	1,284	180,960	0.71
令和3年度	1,293	185,157	0.70

4 医療費・保険給付費の状況

4 医療費・保険給付費の状況

(1) 医療費の概要

令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えから一転し、令和3年度は令和元年度と同程度に戻っている。

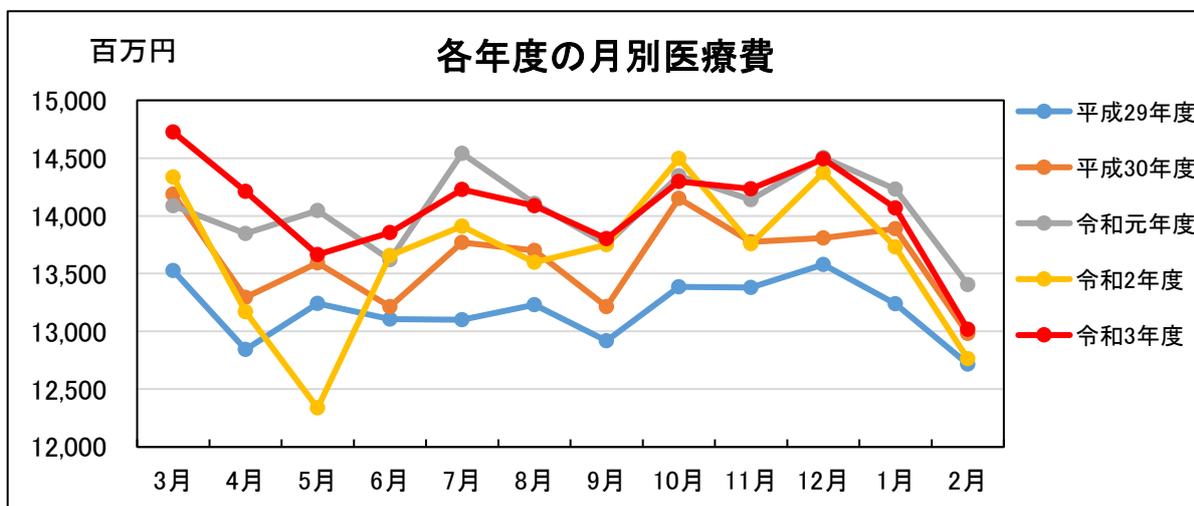
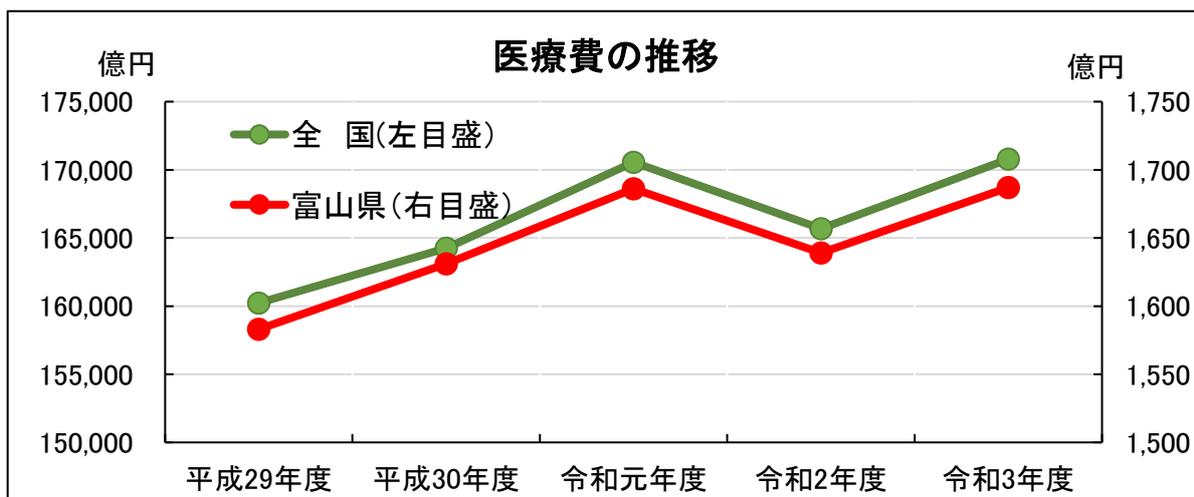
【医療費の推移】

単位：億円

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全国	160,229	164,246	170,562	165,681	170,784
対前年度伸率	4.2%	2.5%	3.8%	-2.9%	3.1%
富山県	1,583	1,632	1,686	1,639	1,687
対前年度伸率	3.9%	3.1%	3.3%	-2.8%	2.9%

【出典】◆全国：厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」※令和3年度は速報値

◆富山県：「後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）」



富山県の後期高齢者医療

(2) 一人当たり医療費

本県の一人当たり医療費は全国と比較して低い傾向にある。また、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた医療費が増加に転じている。

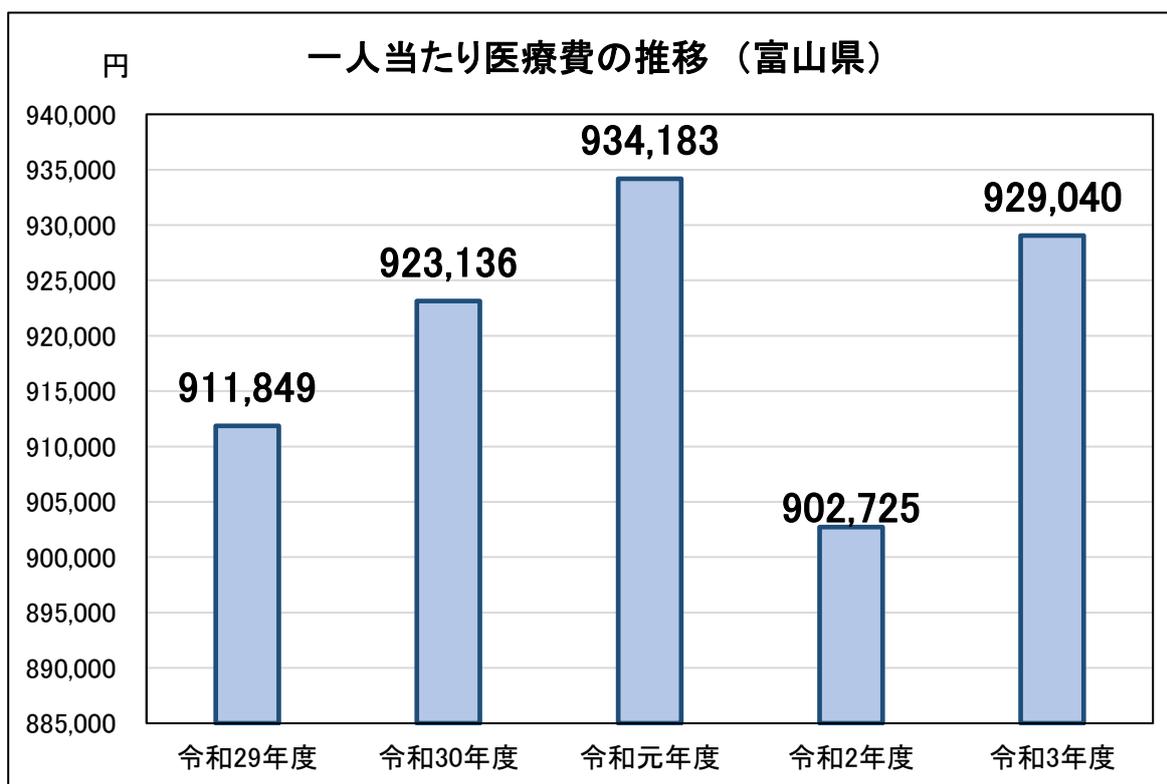
【一人当たり医療費の推移】

単位：円

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全国	944,561	943,082	954,369	917,124	940,628
対前年度伸率	1.1%	-0.2%	1.2%	-3.9%	2.6%
富山県	911,849	923,136	934,183	902,725	929,040
対前年度伸率	1.3%	1.2%	1.2%	-3.4%	2.9%

【出典】◆全国：厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」※令和3年度は速報値

◆富山県：「後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）」



(3) 医療費の種類別推移

令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えから一転し、令和3年度は令和元年度と同程度に戻っている。

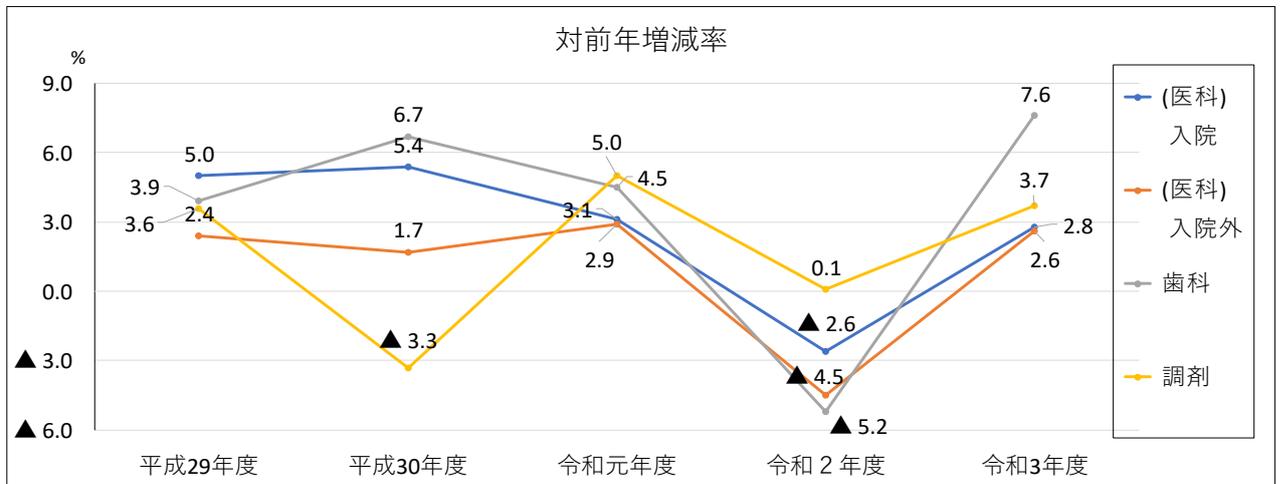
個別の項目では、「訪問看護療養費」が増加し続けている。

【医療費の推移】

単位：円

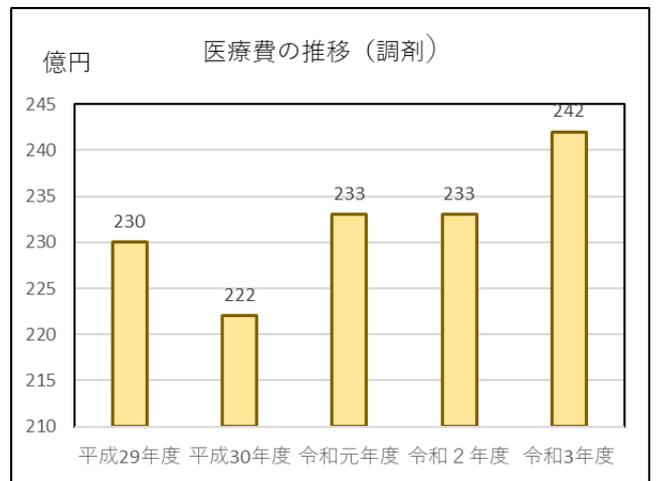
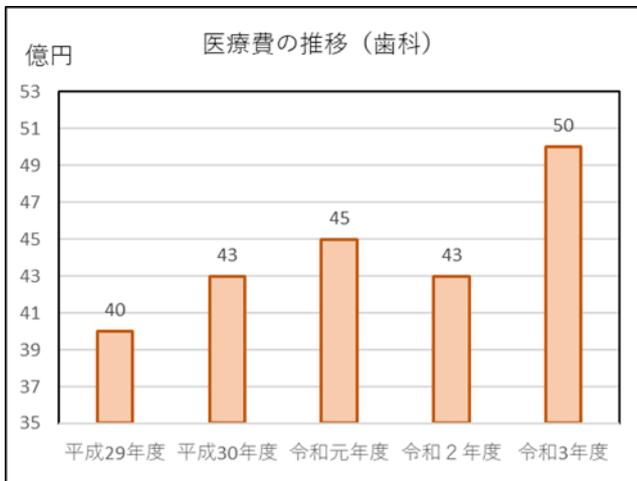
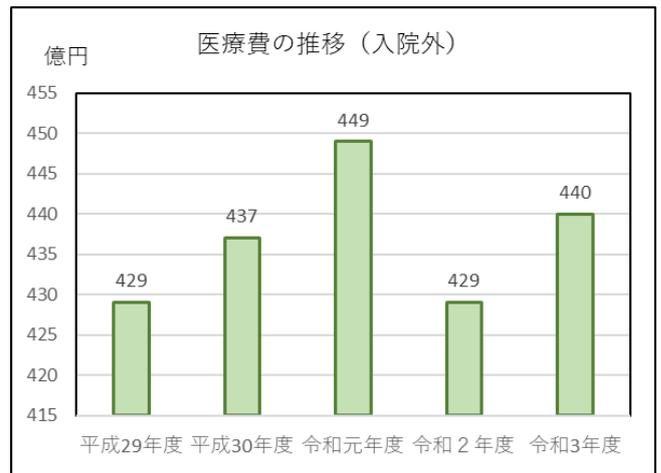
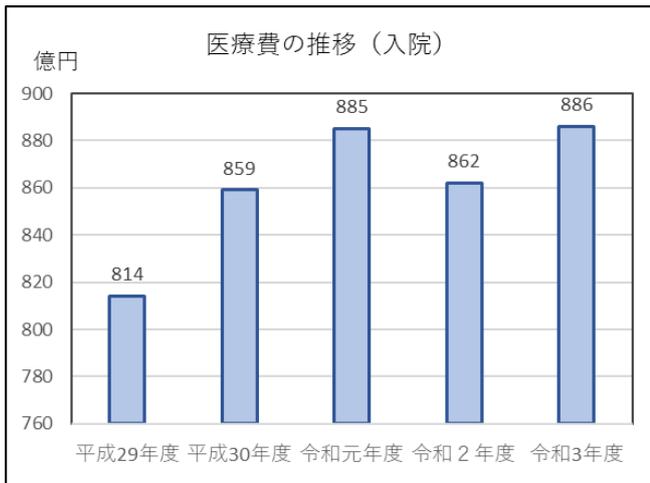
区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
療養給付費等	医科	124,371,433,705	129,515,876,856	133,442,514,056	129,140,424,581	132,641,668,075
	入院	81,440,315,643	85,863,798,403	88,528,903,669	86,227,758,173	88,604,412,601
	伸率	5.0%	5.4%	3.1%	▲2.6%	2.8%
	入院外	42,931,118,062	43,652,078,453	44,913,610,387	42,912,666,408	44,037,255,474
	伸率	2.4%	1.7%	2.9%	▲4.5%	2.6%
	歯科	4,036,818,617	4,305,445,127	4,500,409,150	4,265,790,057	4,591,806,583
	伸率	3.9%	6.7%	4.5%	▲5.2%	7.6%
	調剤	22,955,477,174	22,200,847,056	23,314,722,071	23,340,705,016	24,202,064,253
	伸率	3.6%	▲3.3%	5.0%	0.1%	3.7%
	食事・生活療養	4,702,681,508	4,778,509,640	4,779,029,869	4,579,559,003	4,571,848,156
伸率	1.5%	1.6%	0.0%	▲4.2%	▲0.2%	
訪問看護療養費	604,747,620	755,603,970	928,493,530	1,065,685,410	1,169,861,231	
伸率	23.3%	24.9%	22.9%	14.8%	9.8%	
計	156,671,158,624	161,556,282,649	166,965,168,676	162,392,164,067	167,177,248,298	
伸率	4.0%	3.1%	3.3%	▲2.7%	2.9%	
療養費等	柔道整復術療養費	940,814,381	939,191,289	975,560,792	895,940,433	889,758,075
	伸率	▲2.8%	▲0.2%	3.9%	▲8.2%	▲0.7%
	あん摩・マッサージ	344,452,389	320,667,545	376,378,900	301,024,600	313,392,910
	伸率	3.6%	▲6.9%	17.4%	▲20.0%	4.1%
	はり、きゅう	150,886,335	142,741,660	131,793,010	136,757,890	132,001,290
	伸率	▲7.8%	▲5.4%	▲7.7%	3.8%	▲3.5%
その他療養費	164,321,593	180,532,847	177,668,202	155,667,901	173,452,168	
伸率	▲2.2%	9.9%	▲1.6%	▲12.4%	11.4%	
計	1,600,474,698	1,583,133,341	1,661,400,904	1,489,390,824	1,508,604,443	
伸率	▲1.9%	▲1.1%	4.9%	▲10.4%	1.3%	

【出典】後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）



富山県の後期高齢者医療

【医療費の種類別推移】



(4) 療養費

「柔道整復」及び「はり・きゅう」については、令和3年度は令和2年度と比較して減少傾向にあるが、「あん摩・マッサージ」については、微増となっている。

【療養費の推移】

柔道整復

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	86,105	84,843	87,791	79,870	79,006
費用額(円)	940,814,381	939,191,289	975,560,792	895,940,433	889,758,075
1件当たり費用額(円)	10,926	11,070	11,112	11,217	11,262

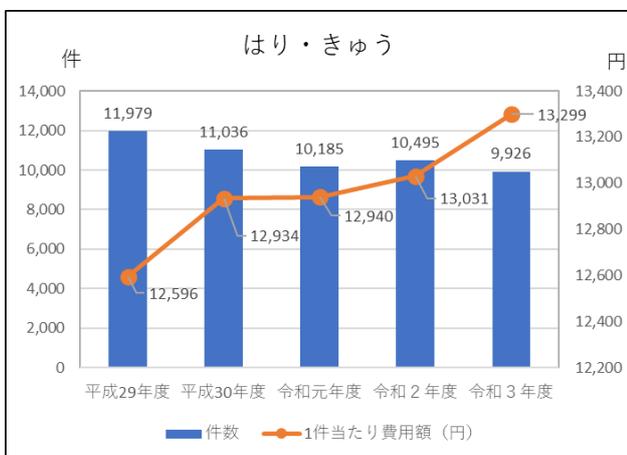
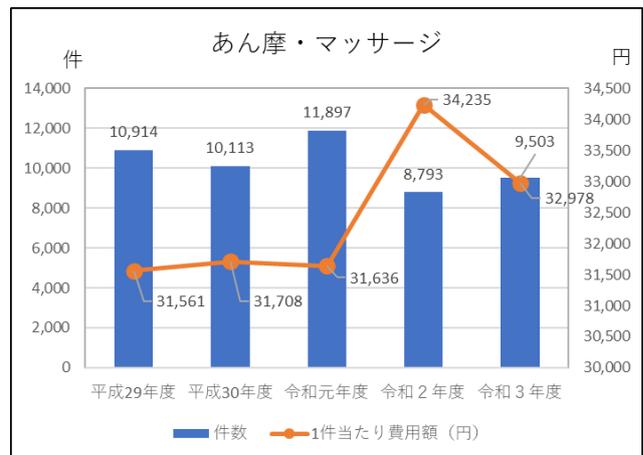
あん摩・マッサージ

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	10,914	10,113	11,897	8,793	9,503
費用額(円)	344,452,389	320,667,545	376,378,900	301,024,600	313,392,910
1件当たり費用額(円)	31,561	31,708	31,636	34,235	32,978

はり・きゅう

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	11,979	11,036	10,185	10,495	9,926
費用額(円)	150,886,335	142,741,660	131,793,010	136,757,890	132,001,290
1件当たり費用額(円)	12,596	12,934	12,940	13,031	13,299

出典：後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）



富山県の後期高齢者医療

(5) 葬祭費

被保険者が死亡した場合、葬祭執行者に対し3万円を給付する。

【葬祭費の推移】

年度	件数		支給額（円）
		対前年伸率(%)	
平成29年度	10,457	3.3%	313,710,000
平成30年度	10,395	-0.6%	311,850,000
令和元年度	10,509	1.1%	315,270,000
令和2年度	10,251	-2.5%	307,530,000
令和3年度	10,348	0.9%	310,440,000

【出典】：後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）

(6) 疾病別医療費の概要

疾病別医療費の全国との比較

本県の上位5疾病及びその構成比は、全国とほぼ同じ傾向を示している。

【令和3年度 疾病別医療費（大分類）】

大分類別疾患	富山県			全国		
	疾病別医療費(円) (入院・外来合計)	構成比	順位	疾病別医療費(円) (入院・外来合計)	構成比	順位
感染症及び寄生虫症	1,673,250,410	1.1%	15	167,997,234,910	1.1%	15
新生物<腫瘍>	18,339,778,090	11.9%	3	1,673,565,566,060	10.9%	3
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,187,885,680	0.8%	16	122,891,598,160	0.8%	16
内分泌、栄養及び代謝疾患	10,214,232,180	6.6%	5	1,042,716,756,180	6.8%	6
精神及び行動の障害	7,279,831,700	4.7%	10	568,198,104,190	3.7%	11
神経系の疾患	9,508,805,030	6.2%	7	946,592,552,910	6.1%	8
眼及び付属器の疾患	5,187,762,370	3.4%	11	573,406,286,460	3.7%	10
耳及び乳様突起の疾患	371,127,900	0.2%	18	39,327,954,300	0.3%	18
循環器系の疾患	32,620,859,630	21.1%	1	3,278,052,627,610	21.3%	1
呼吸器系の疾患	9,657,862,560	6.3%	6	1,100,442,648,200	7.1%	5
消化器系の疾患	7,966,228,900	5.2%	9	920,761,597,150	6.0%	9
皮膚及び皮下組織の疾患	2,081,351,220	1.3%	14	192,937,974,680	1.2%	13
筋骨格系及び結合組織の疾患	19,033,903,720	12.3%	2	1,936,605,929,890	12.6%	2
泌尿器系の疾患	14,364,832,840	9.3%	4	1,383,318,561,820	9.0%	4
妊娠、分娩及び産じょく	378,570	0.0%	21	14,628,730	0.0%	21
周産期に発生した病態	0	0.0%	22	1,424,190	0.0%	22
先天奇形、変形及び染色体異常	49,096,970	0.0%	20	3,127,398,460	0.0%	20
症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	2,123,835,120	1.4%	13	235,852,027,310	1.5%	12
損傷、中毒及びその他の外因の影響	8,747,452,570	5.7%	8	964,683,244,490	6.3%	7
特殊目的用コード	74,591,570	0.0%	19	33,609,567,220	0.2%	19
傷病及び死亡の外因	0	0.0%	22	0	0.0%	23
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	485,347,830	0.3%	17	48,123,109,610	0.3%	17
その他（上記以外のもの）	3,441,848,320	2.2%	12	175,401,487,470	1.1%	14
総計	154,410,263,180	100.0%	-	15,407,628,280,000	100.0%	-

KDB帳票「疾病別医療費分析（大分類）」令和3年度累計データより作成

※上位5疾病を白抜き文字で表記

疾病別医療費の経年変化

上位5疾病の推移を見ると、「循環器系の疾患」が最も高い状況が続いており、「新生物<腫瘍>」の構成比の増加がみられる。

【疾病別医療費（入院・外来合計）、構成比及び順位】

大分類別疾患	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	疾病別医療費（円）	構成比	順位	疾病別医療費（円）	構成比	順位	疾病別医療費（円）	構成比	順位
循環器系の疾患	31,665,079,270	21.8%	1	31,808,101,870	21.3%	1	32,462,554,410	21.0%	1
筋骨格系及び結合組織の疾患	19,141,801,710	13.2%	2	19,394,516,550	13.0%	2	19,522,794,600	12.6%	2
新生物<腫瘍>	14,479,710,540	10.0%	3	15,472,612,180	10.4%	3	17,358,504,360	11.2%	3
尿路器系の疾患	13,954,424,030	9.6%	4	14,198,621,850	9.5%	4	14,900,603,410	9.6%	4
神経系の疾患	9,268,549,200	6.4%	6	10,196,959,560	6.8%	6	10,454,771,040	6.8%	6
呼吸器系の疾患	10,221,483,520	7.0%	5	10,677,382,530	7.2%	5	11,000,280,050	7.1%	5
総計	145,132,205,220	-	-	149,042,971,730	-	-	154,539,212,190	-	-

大分類別疾患	令和2年度			令和3年度		
	疾病別医療費（円）	構成比	順位	疾病別医療費（円）	構成比	順位
循環器系の疾患	31,732,889,370	21.2%	1	32,620,859,630	21.1%	1
筋骨格系及び結合組織の疾患	18,715,441,970	12.5%	2	19,033,903,720	12.3%	2
新生物<腫瘍>	17,202,253,090	11.5%	3	18,339,778,090	11.9%	3
尿路器系の疾患	14,270,725,240	9.5%	4	14,364,832,840	9.3%	4
神経系の疾患	10,147,242,340	6.8%	5	9,508,805,030	6.2%	7
呼吸器系の疾患	9,448,666,530	6.3%	7	9,657,862,560	6.3%	6
総計	149,761,528,150	-	-	154,410,263,180	-	-

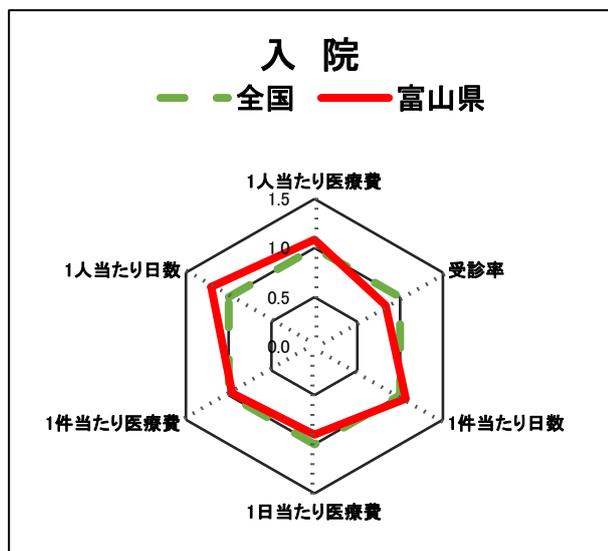
KDB帳票「医療費分析（2）大、中、細小分類」の各年度累計データより作成

富山県の後期高齢者医療

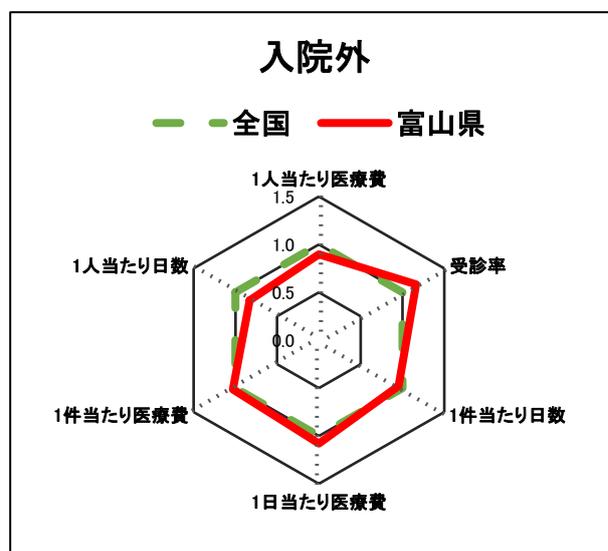
【参考】診療諸率の比較

令和3年度の診療諸率を全国と本県で比較した。(全国平均を1とした場合の本県比率)

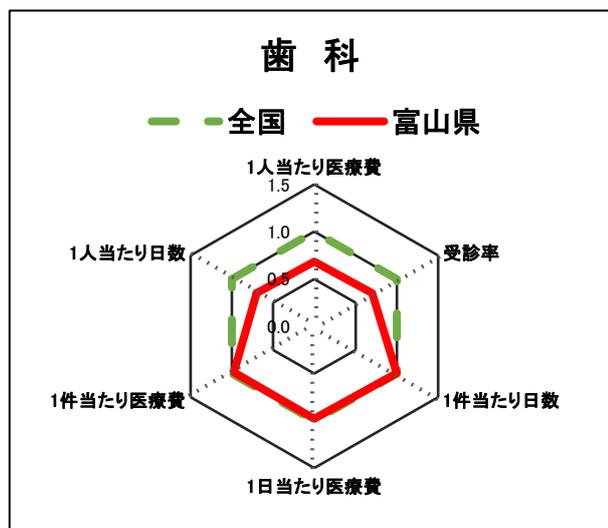
集計期間：全国は4月から3月受診分、本県は3月から2月受診分の集計



【入院】本県は全国に比べて一人当たり日数及び医療費が多く、受診率が低いことから、入院すると長期化する傾向にあることがうかがえる。



【入院外】本県は全国に比べて外来受診率が高く、1人当たり日数及び医療費が低い傾向にある。



【歯科】本県は全国に比べて歯科受診率、1人当たり日数及び医療費が低い傾向にある。

出典：◆全国：国民健康保険中央会「医療費速報」

◆富山県：後期高齢者医療事業状況報告書（事業年報）

◆KDB 帳票「地域全体像の把握」令和3年度累計データ

【参考】都道府県別医療費

本県の一人当たり医療費は全国では中位にあり、令和2年度及び令和3年度共に全国平均に比べて低くなっている。

令和2年度				令和3年度			
順位	都道府県	一人当たり 医療費	全国平均=100と した指数	順位	都道府県	一人当たり 医療費	全国平均=100と した指数
		(円)				(円)	
1	高知県	1,153,840	126.4	1	高知県	1,166,799	125.2
2	福岡県	1,134,256	124.3	2	福岡県	1,165,578	125.1
3	鹿児島県	1,083,717	118.7	3	鹿児島県	1,104,137	118.5
4	長崎県	1,068,129	117.0	4	佐賀県	1,078,704	115.8
5	佐賀県	1,059,116	116.0	5	長崎県	1,078,623	115.8
6	徳島県	1,050,790	115.1	6	熊本県	1,070,009	114.9
7	北海道	1,050,207	115.1	7	徳島県	1,060,169	113.8
8	熊本県	1,048,143	114.8	8	北海道	1,056,724	113.4
9	大分県	1,032,597	113.1	9	大分県	1,048,607	112.6
10	大阪府	1,027,254	112.5	10	大阪府	1,040,754	111.7
11	広島県	1,018,431	111.6	11	広島県	1,031,370	110.7
12	山口県	1,001,399	109.7	12	京都府	1,011,803	108.6
13	沖縄県	993,590	108.9	13	山口県	1,008,471	108.3
14	京都府	991,234	108.6	14	兵庫県	1,001,742	107.5
15	兵庫県	982,626	107.7	15	沖縄県	998,645	108.0
16	香川県	956,950	104.8	16	香川県	980,896	105.3
17	石川県	952,266	104.3	17	岡山県	964,722	103.6
18	岡山県	949,829	104.1	18	石川県	963,638	103.4
19	愛媛県	949,412	104.0	19	愛媛県	960,393	103.1
20	和歌山県	931,986	102.1	20	和歌山県	945,835	101.5
21	鳥根県	924,872	101.3	21	鳥取県	941,655	101.1
22	鳥取県	921,521	101.0	22	愛知県	935,874	100.5
23	愛知県	912,795	100.0	23	鳥根県	935,207	100.4
24	奈良県	909,897	99.7	24	東京都	924,747	99.3
25	富山県	898,075	98.4	25	富山県	920,685	98.8
26	東京都	891,452	97.7	26	奈良県	919,310	98.7
27	滋賀県	890,303	97.5	27	福井県	912,953	98.0
28	宮崎県	887,395	97.2	28	宮崎県	908,351	97.5
29	福井県	885,574	97.0	29	滋賀県	900,852	96.7
30	群馬県	834,343	91.4	30	神奈川県	862,262	92.6
31	神奈川県	834,063	91.4	31	岐阜県	855,426	91.8
32	岐阜県	830,536	91.0	32	山梨県	854,851	91.8
33	山梨県	828,350	90.8	33	群馬県	854,650	91.7
34	三重県	823,972	90.3	34	長野県	836,957	89.8
35	宮城県	822,992	90.2	35	宮城県	836,899	89.8
36	茨城県	820,251	89.9	36	三重県	835,940	89.7
37	山形県	815,223	89.3	37	茨城県	834,855	89.6
38	長野県	815,212	89.3	38	山形県	830,641	89.2
39	埼玉県	813,257	89.1	39	埼玉県	830,396	89.1
40	栃木県	810,569	88.8	40	栃木県	825,828	88.6
41	福島県	807,279	88.4	41	千葉県	817,882	87.8
42	青森県	803,938	88.1	42	静岡県	815,429	87.5
43	秋田県	798,768	87.5	43	福島県	810,558	87.0
44	静岡県	792,214	86.8	44	青森県	806,552	86.6
45	千葉県	792,185	86.8	45	秋田県	803,541	86.3
46	岩手県	753,122	82.5	46	岩手県	763,347	81.9
47	新潟県	741,281	81.2	47	新潟県	750,329	80.5
-	全国平均	912,746	100.0	-	全国平均	931,588	100.0
	最大/最小	1.56倍			最大/最小	1.56倍	

出典：公益社団法人国民健康保険中央会「医療費速報」参考資料

各年度は4月から3月受診分の合計

5 保健事業の状況

5 保健事業の状況

(1) 健康診査事業

被保険者の主体的な健康管理と健康保持増進を図り、生活習慣病の早期発見・早期治療に繋げていくことを目的とし、富山県医師会への委託により実施している。

検査項目

【基本項目】

健康状態及び生活習慣に関する問診・身長及び体重・BMI・理学的所見（身体診察）
・血圧・血液検査（脂質、肝機能、代謝系）・尿検査（尿糖・尿蛋白）

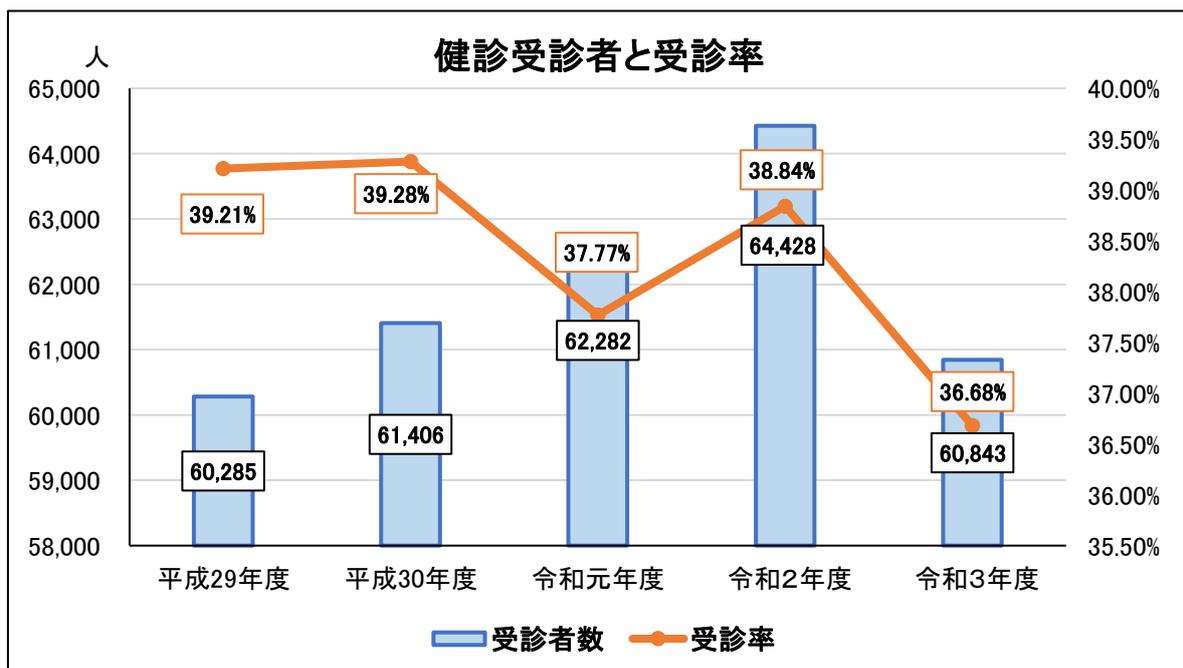
【詳細項目】血清クレアチニン検査 ※令和2年度より

受診率の推移

年度	事業費	受診対象者数	受診者数	受診率
平成29年度	520,898千円	153,740人	60,285人	39.21%
平成30年度	530,741千円	156,344人	61,406人	39.28%
令和元年度	559,155千円	164,904人	62,282人	37.77%
令和2年度	579,721千円	165,896人	64,428人	38.84%
令和3年度	577,105千円	165,860人	60,843人	36.68%

※令和元年度まで後期高齢者医療制度事業費補助金実績報告書による。

※令和2年度から受診者数、受診率には、人間ドック受診者を含む。



(2) 歯科健診

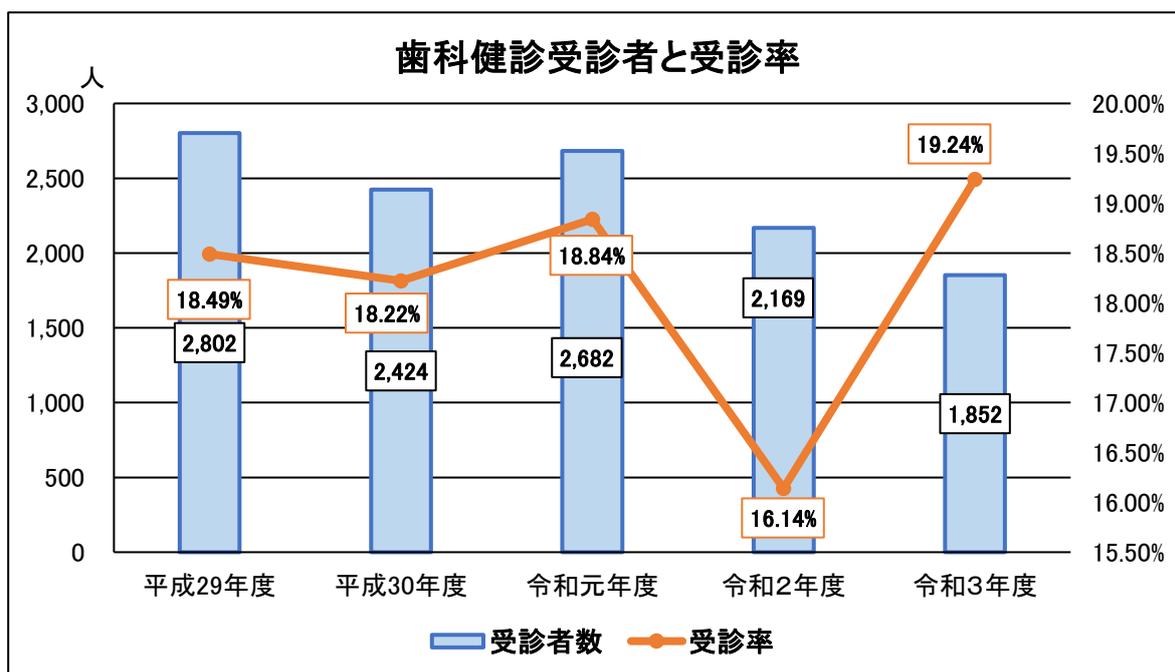
平成 27 年度より、口腔機能低下の予防を図り、肺炎等の疾病の予防につなげるとともに、口腔健診意識向上を図り、後期高齢者の健康水準の向上に資することを目的として、健診業務を富山県歯科医師会への委託により実施している。

対象者

前年度に 75 歳に到達した被保険者

受診率の推移

	事業費	対象者数	受診者数	受診率
平成 29 年度	15,753 千円	15,157 人	2,802 人	18.49%
平成 30 年度	13,958 千円	13,301 人	2,424 人	18.22%
令和元年度	15,236 千円	14,233 人	2,682 人	18.84%
令和 2 年度	15,808 千円	13,441 人	2,169 人	16.14%
令和 3 年度	13,239 千円	9,627 人	1,852 人	19.24%



(3) 人間ドック助成事業

平成 23 年度より、疾病の早期発見に努め、後期高齢者の健康の保持・増進に寄与することを目的として、県内医療機関へ人間ドックの実施を委託し、ドック受診者へ検査料の一部助成を実施している。

対象者

健康診査未受診者

助成額

検査料に 2 分の 1 を乗じて得た額又は 15,000 円のいずれか低い額

助成者の推移

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
助成者数	2,050 人	2,363 人	2,575 人	2,281 人	2,647 人

(4) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

令和 2 年度より、高齢者の身体的、精神的及び社会的な特性を踏まえ、これまで実施してきた保健事業に加え、介護予防事業と連携しながら疾病予防と生活機能維持の両面から支援する「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を市町村委託により実施している。

実施内容

- ① 個別的支援（ハイリスクアプローチ）
 - ア 低栄養防止・重症化予防
 - (a) 栄養・口腔・服薬に関する相談指導
 - (b) 生活習慣病重症化予防
 - イ 健康状態が不明な高齢者の状態把握
- ② 通いの場への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）

実施市町村

年度	令和 2 年度	令和 3 年度
市町村数	2 市	9 市町
市町村名	高岡市、射水市	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、黒部市、砺波市、射水市、入善町、朝日町
実施圏域数	9 圏域	34 圏域

合同会議・研修会

- ・令和3年4月 企画調整担当者会議
- ・7～2月 合同会議（3回、2回目は各厚生センター毎に県と共催）
- ・令和4年1月 一体的実施の推進に向けたセミナー（事例報告会・講演・グループワーク）
- ・3月 令和4年度から実施予定の市町村との合同会議

(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業

平成30年度より8市町村を対象に、モデル事業として糖尿病性腎症患者の重症化を予防し、新規透析患者の減少を図るため開始し、令和元年度より県内全市町村の被保険者のうちリスクの高い者を対象に受診勧奨及び保健指導を実施している。

実施状況

事業指標		実績値			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者の受診率の向上（受診勧奨後の医療機関受診率）	未治療者	33.3%	81.7%	89.7%	62.5%
	治療中断者	—	—	37.6%	53.8%
保健指導実施市町村数		—	—	11	12
新規透析患者数	172人	173人	169人	172人	176人
1万人あたり新規透析患者数	9.8人	9.6人	9.2人	9.5人	9.5人

(6) 循環器疾患（高血圧）重症化予防事業

令和2年度より県内全市町村の被保険者のうち、リスクの高い者を対象に受診勧奨及び保健指導を実施している。

実施状況

事業指標		実績値	
		令和2年度	令和3年度
対象者の受診率の向上（受診勧奨後の医療機関受診率）	未治療者	57.8%	17.6%
保健指導実施市町村数		5	13

(7) フレイル対策モデル事業

フレイルに対する疾病患者の情報収集、分析を行いフレイル予防に向けて市町村等との連携及び一体的実施事業の体制の整備のために実施した。

実施状況

年度	令和2年度	令和3年度
市町村数	1市1町	1市1町
市町村名	氷見市、立山町	小矢部市、上市町
事業参加者 (延べ)	氷見市 86人 立山町 241人	小矢部市 79人 上市町 111人

(8) ポリファーマシー対策事業

令和3年度より関係者との協議会を年2回開催し、複数の医療機関から、一定数以上の内服薬処方者や重複投薬者、一定期間以上の併用禁忌薬内服者等を抽出し、薬剤師からの専門的意見を踏まえて介入対象者を選定し、訪問服薬相談を実施している。

実施市町村

年度	令和3年度
市町村数	1市
市町村名	黒部市
指導実施人数(延べ)	7人(14人)

出前講座

後期高齢者は、加齢による生理機能の変化や複数疾患による多剤・重複服薬等に係る問題が生じやすい。また、近年要介護者の増加原因として骨折転倒・関節疾患、フレイルがあり、ポリファーマシーが1つの要因であることが知られている。これらのことから、富山県薬剤師会へ委託し、ポリファーマシー対策についての講話を行うことで、高齢者や家族等にポリファーマシー対策の有用性を周知する。

- ① 実施期間 令和3年7月～令和4年3月
- ② 開催回数 8回 受講者数 163人

(9) 保険者インセンティブの推進

後期高齢者医療広域連合による被保険者に対する予防・健康づくりの取り組みや医療費適正化の事業実施の取組を推進するため、平成29年度より後期高齢者医療制度においても実施された「保険者インセンティブ」について、各評価指標の達成に取り組んでいる。

点数の推移

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度評価 (令和元年度実績)	令和3年度評価 (令和2年度実績)	令和4年度評価 (令和3年度実績)
点数	67点/120点	90点/130点	90点/130点	116点/120点	116点/120点
全国順位	26位	22位	22位	12位	1位

※令和2年度評価より前年度実績評価に変更

6 医療費適正化事業の状況

6 医療費適正化事業の状況

(1) 医療費通知（医療費のお知らせ）の送付

被保険者にかかった医療費の額をお知らせすることにより、健康に対する意識を高めてもらい、被保険者の健康増進を図ることを目的として実施している。

令和3年度の実施状況

- (1) 総事業費 47,001,348 円
- (2) 発送時期・発送通数
 - ・ 1回目 令和3年6月 165,952 通
 - ・ 2回目 令和4年1月 299,464 通

(2) ジェネリック医薬品の利用促進

医療費の適正化を目的に、服用している先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額の通知や、ジェネリック医薬品希望カードの配布などを通じ、ジェネリック医薬品の利用促進を図ることを目的に実施している。

令和3年度の実施状況

- (1) 総事業費 649,115 円
- (2) 差額通知発送時期・発送通数
 - ・ 1回目 令和3年7月 2,101 通
 - ・ 2回目 令和4年12月 1,835 通

※通知対象

ジェネリック医薬品に切り替えた場合に薬代が月 500 円以上軽減する場合

- (3) 数量シェア 81.4%（令和4年3月現在）

(3) 重複・頻回受診者訪問指導事業

レセプト情報から抽出した被保険者に連絡を取り、訪問の同意が得られた被保険者の家庭を専門職（保健師、看護師等）が訪問し、医療に関する相談及び指導を行うことで、被保険者の適正受診・適正服薬を促し、被保険者の健康増進を図ることを目的に実施している。

令和3年度の実施状況

- (1) 総事業費 2,387,000円
- (2) 実施市町数 12市町
- (3) 訪問実施者数 113人（重複受診者15人、頻回受診者98人）
 - ※重複受診者 3ヶ月連続して2箇所以上の医療機関に同一傷病で3日以上
 - ※頻回受診者 3ヶ月連続して同じ医療機関を14日以上受診

富山県後期高齢者医療広域連合

〒939-2798

富山県富山市婦中町速星 754 番地

富山市婦中行政サービスセンター5階

電 話 076-465-7501 (代表)

FAX 076-465-3967

ホームページ <https://www.toyama-iryuu.jp/>
